

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		国語		科目名	論理国語
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	『新編論理国語』(大修館)
2	必修	2	70	補助教材	『新編論理国語 学習ノート』(大修館)
授業の概要		国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。			
学習到達目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			
求められる力 (目指す生徒像)		目標を持ち、自らの意思で前向きに取り組むことができる。 与えられた課題や宿題などに進んで取り組み、不明な点を調べて解決できる。			

観点別評価(%)							
	授業姿勢	活動評価	単元ワーク	課題提出			合計
知識・技能		20	20	60			100
思考・判断・表現		30	30	40			100
主体的に取り組む学習態度	40	30	30				100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	「論理」への第一歩 具体と抽象の関係	【読むこと】指示語の役割		○	○
		【読むこと】具体と抽象を区別し、使い分ける。	○	○	
5月	突然変異と進化の関係 ウサギの耳はなぜ長い？	【読むこと】具体と抽象を区別し、使い分ける。	○	○	
		【読むこと】具体と抽象を区別し、使い分ける。	○	○	
6月	具体と抽象を使いこなそう 根拠をふまえて主張を書こう	【読むこと】・【書くこと】具体と抽象を区別し、使い分ける。	○	○	
		【書くこと】論理的に書く①		○	○
7・8月	比べて説明する 米の種類と食文化 対話の精神	【読むこと】・【書くこと】対比をとらえる	○	○	
		【読むこと】対比をとらえる	○	○	
		【読むこと】対比をとらえる	○	○	
9月	対比を使って主張する 主張と根拠を考える	【書くこと】対比を使って主張する		○	○
		【書くこと】小論文②		○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	文化としての科学 人工の自然	【読むこと】筆者の主張とその根拠を読み解く。	○	○	
		【読むこと】筆者の主張とその根拠を読み解く。	○	○	
11月	要約の方法 文章と資料を関連づけて読む	【読むこと】・【書くこと】筆者の主張とその根拠を読み解く		○	○
		【読むこと】統計資料を活用する。	○	○	
12・1月	量の時代から質の時代へ 統計資料を活用しよう テーマを決め、問いを立てよう	【読むこと】統計資料を元を読み解く。	○	○	
		【読むこと】・【書くこと】統計資料を基に主張する。 【書くこと】小論文③		○	○
2月	情報を比較・整理する 「言葉の揺れ」を認めるか	【読むこと】比べて読む	○	○	
		【読むこと】情報を比較・整理する	○	○	
3月	紙の本はなくなるしない 比べて読もう	【読むこと】情報を比較・整理する	○	○	
		【読むこと】・【書くこと】情報を比較し、主張につなげる	○	○	○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		国語		科目名	文学国語
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	大修館書店『新編文学国語』[文国705]
2	必修	2	70	補助教材	『新編文学国語 学習ノート』
授業の概要		国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。			
学習到達目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			
求められる力 (目指す生徒像)		漢字の読み・書きや基本的な語彙の理解をした上で音読できる力、発問等を正確に聴き取り適切な受け応えをする力、ノートやプリント作成などの作業に集中して取り組む力を身につける。			

観点別評価(%)								
	授業姿勢	活動観察	小テスト	単元ワーク	単元テスト	課題提出	定期試験	合計
知識・技能			25		25		50	100
思考・判断・表現				20	10	20	50	100
主体的に取り組む学習態度	20	20		10		50		100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	文学の扉を開こう	文学的な文章の特徴を知る	○		○
	明日をひらく 『そとみとなかみ』	随筆の特徴を知る		○	○
5月	小説を楽しむ 『ナイン』	小説の特徴を知り、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について理解する		○	○
6月	古典の世界Ⅰ 『星取り』	古典文法を理解し、我が国の言語文化の特質について理解を深める。	○		○
7・8月	古典の世界Ⅱ 『児の飴食ひたること』	古文の読解を通して、場面の設定や話の展開を正しく理解する。		○	○
9月	詩を味わう 『道程』 『永訣の朝』	詩の種類や特徴について理解を深め、読み味わう。		○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	名作を読む 『山月記』	小説の読み方を確認し、場面と心情の変化を読み味わう。		○	○
11月	古典の世界2 『竹取物語』	本文を正しく読解し、古典における文学史を理解する。	○		○
12・1月	社会に生きる 『鞆』	寓意について理解し、ジグソー法を用いて、読みを深める。		○	○
2月	古典の世界3 『行く河の流れ』	三大随筆について理解し、文章に込められた無常観について読み取る。		○	○
3月	読書の広場 『鉄道員』	ポップ作りを通して、読書に親しむ態度を養う。	○		○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		地理歴史		科目名	地理総合
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	高校生の地理総合(帝国書院)
2	必修	2	70		新詳高等地図(帝国書院)
授業の概要		地誌を通し社会的事象の地理的な見方・考え方を基礎・基本を学ぶ中で養い、課題を追究・解決する活動をしていく。あわせて公民としての資質・能力を育成するため、時事的な課題の探究も行う。			
学習到達目標		社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、基礎・基本的内容を身につけ課題を追究・解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を育成する。			
求められる力 (目指す生徒像)		日本や世界の地理の基礎的な事項について、理解したことを副教材や資料などをもとに書く・話すことで表現できる。			

観点別評価(%)							
	授業姿勢	課題提出	活動評価				合計
知識・技能	70						70
思考・判断・表現		20					20
主体的に取り組む学習態度			10				10

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	第1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 (地誌:中学校の復習) 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球儀と地図 2節 地図と地理情報システム	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
5月	2章 結びつきを強める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 地図から見る国内や国家間の結びつき	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
6月	第2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
7・8月	3節 世界の産業と人々の生活 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
9月	5節 多様な生活文化と地理的環境 ・東アジア ・東南アジア ・インド ・中央アジア ・西アジアと北アフリカ	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	・サハラ以南の南アフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アメリカ合衆国	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
11月	・ラテンアメリカ ・オセアニア 2章 地球的課題と国際協力 1節 人口問題	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
12・1月	2節 食糧問題 3節 都市・居住問題 4節 感染症・衛生問題 5節 資源・エネルギー問題 6節 地球環境問題 5節 資源・エネルギー問題 6節 地球環境問題	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
2月	3部 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
3月	2節 地震・津波や火山活動による災害と防災 3節 気象災害と防災 4節 自然災害への備え	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○

令和6年度 日本史探究 シラバス

教科名		地歴		科目名	日本史探究		
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	高等学校 日本史探究（第一学習社）		
2	必修	3	105	補助教材	日本史探究ノート（第一学習社）		
授業の概要		・ 古代国家の成立から現代の世界と日本について政治、経済、文化について考察する。					
学習到達目標		・ 古代から近代以降のわが国の歴史と国際関係を時代背景を踏まえながら考察する。					
求められる力 （目指す生徒像）		・ 教科書の精読を通して基本的な歴史用語を理解する読解力と文章を比較・検討してテーマごとに設定される「問い」考察する力を身につける。					
観点別評価（％）							
	定期試験	小テスト	提出物	グループワーク	授業姿勢		合計
	60	5	15	5	15	0	100
知識・技能	60	10	30				100
思考・判断・表現	60	10	10	10	10		100
主体的に取り組む学習態度	50			20	30		100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	1. 原始・古代の日本とアジア	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
	(1) 日本列島に人々が現れた	探求ノートに取り組むこと		○	○
	(2) クニが現れた	グループワークに参加すること		○	○
5月	(3) 平安京がつくられた	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
	2. 中世の日本と世界	探求ノートに取り組むこと		○	○
	(1) 院政がはじまった	グループワークに参加すること		○	○
6月	(2) 鎌倉幕府の支配	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
	(3) 列島全体の動乱	探求ノートに取り組むこと		○	○
	3. 近世の日本と世界	グループワークに参加すること		○	○
7・8月	(1) 各地の戦国大名	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
	(2) 強力な江戸幕府の成立	探求ノートに取り組むこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
9月	(3) 武士の役割が変わった	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
		探求ノートに取り組むこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	(4) 幕政の改革が始まった	講義を聞いて、ノートを取ること 探求ノートに取り組むこと グループワークに参加すること	○	○ ○	○ ○
11月	4. 近現代の地域・日本と世界 (1) 幕藩体制が揺らぐ (2) 新しい時代の夜明け	講義を聞いて、ノートを取ること 探求ノートに取り組むこと グループワークに参加すること	○	○ ○	○ ○
12・1月	(3) 条約改正は大きな課題 (4) 民衆が政治を動かす (5) 恐慌の嵐が吹き荒れる	講義を聞いて、ノートを取ること 探求ノートに取り組むこと グループワークに参加すること	○	○ ○	○ ○
2月	(6) 日本は連合軍に占領 (7) 豊かな暮らしとひずみ (8) 高度経済成長が終わる	講義を聞いて、ノートを取ること 探求ノートに取り組むこと グループワークに参加すること	○	○ ○	○ ○
3月	テーマ別グループ活動～発表	講義を聞いて、ノートを取ること 探求ノートに取り組むこと グループワークに参加すること	○	○ ○	○ ○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		公民		科目名	公共
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	『公共』（実教出版）
2	必修	2	70	補助教材	なし
授業の概要		基本事項をしっかりと理解するとともに、現実の社会の出来事を原理・原則と比較して理解した上で、懐疑的な見方ができる能力をつけさせる。新聞なども活用し、小テストを実施する。			
学習到達目標		倫理分野では自己を見つめ、他者との関わりの方法を、STなどと関連づけながら考えを深める機会を持つ。政治経済分野では参政権を持つ公民として時事的問題に目を向け、主体的に理想や理論・価値観の構築ができる。			
求められる力（目指す生徒像）		自己のあり方について考えを深める。基礎的な用語などを理解することができ、ニュース（新聞・テレビ・ラジオ）に興味を持って接することができる。			

観点別評価（％）							
	授業姿勢	課題提出	活動評価	単元テスト			合計
知識・技能		50		50			100
思考・判断・表現		50	50				100
主体的に取り組む学習態度	50		50				100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	Ⅰ 公共の扉（倫理分野） (1) 社会を作る私たち (2) 人間としてよく生きる	ワークシート、講義を聞くこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
		単元テスト	○		
5月	(3) 他者とともに生きる (4) 民主社会の倫理（政治分野） (5) 民主国家における基本原理	ワークシート、講義を聞くこと		○	○
		プレゼンテーション グループワークに参加すること	○	○	○
		単元テスト	○		
6月	2 よりよい社会の形成に参加する 私たち（政治分野） ・現代の民主政治と日本国憲法 (1) 日本国憲法の基本的性格1～3	ワークシート、講義を聞くこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
		単元テスト	○		
7・8月	(1) 日本国憲法の基本的性格4～5	ワークシート、講義を聞くこと		○	○
		プレゼンテーション グループワークに参加すること	○	○	○
		単元テスト	○		
9月	(1) 日本国憲法の基本的性格6～9	ワークシート、講義を聞くこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
		単元テスト	○	○	

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	(2) 日本の政治機構と政治参加	ワークシート、講義を聞くこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
		単元テスト	○		
11月	・現代の経済社会（経済分野） (1) 現代の経済社会1～7	ワークシート、講義を聞くこと		○	○
		プレゼンテーション グループワークに参加すること	○	○	○
		単元テスト	○		
12・1月	(1) 現代の経済社会8～11 (2) 日本経済の特質と国民生活1～5	ワークシート、講義を聞くこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
		単元テスト	○		
2月	(2) 日本経済の特質と国民生活6～10	ワークシート、講義を聞くこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
		単元テスト	○	○	
3月	アクティブ ⑤～⑦	ワークシート、講義を聞くこと		○	○
		プレゼンテーション グループワークに参加すること	○	○	○
		単元テスト	○		

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		数学		科目名	数学Ⅱ
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	最新 数学Ⅱ（数研出版）
2	必修	4	140	補助教材	3ROUND 数学Ⅱ+B（数研出版）
授業の概要		1年間通して、数学Ⅱの全範囲を学習する。 クラス編成はホームルーム単位で行う。			
学習到達目標		基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を培う。			
求められる力 （目指す生徒像）		数学Ⅱの学習を通して解析学の初歩を学ぶ。高次方程式や様々な関数について、基本的な定理や公式を理解し、活用することを目指す。あらゆる関数を使いこなす探究心、ノートやプリント演習などの作業に集中して取り組む主体性を身につける。			

観点別評価（％）								
	定期試験	小テスト	レポート・課題	授業姿勢	ノート記入			合計
知識・技能	90	10						100
思考・判断・表現	60	10	20		10			100
主体的に取り組む学習態度		20	30	30	20			100

年間学習計画（前期）						
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度	
4月	第1章 式と証明 第1節 式と計算 1. 多項式の乗法と因数分解 2. 2項定理 3. 多項式の割り算 4. 分数式の乗法・除法	説明・問題演習・板書 ベアワーク・グループワーク・調べ学習 多項式・分数式の計算ができる	○	○	○	
			○		○	
5月	5. 分数式の加法・減法 6. 恒等式 第2節 等式・不等式の証明 7. 等式の証明 8. 不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	説明・問題演習・板書 ベアワーク・グループワーク・調べ学習 等式・不等式の証明ができる 複素数の範囲で2次方程式が解ける	○	○	○	
				○	○	
6月	1. 複素数 2. 2次方程式の解と判別式 3. 解と係数の関係 第2節 高次方程式 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式の解法	説明・問題演習・板書 ベアワーク・グループワーク・調べ学習 高次方程式が解ける	○	○	○	
			○	○	○	
7・8月	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の平行と垂直	説明・問題演習・板書 ベアワーク・グループワーク・調べ学習 直線の式が求められる	○		○	
			○	○	○	
9月	第2節 円 5. 円の方程式 6. 円と直線 第3節 軌跡と領域 7. 軌跡 8. 不等式の表す領域 9. 連立不等式と領域	説明・問題演習・板書 ベアワーク・グループワーク・調べ学習 円の式が求められる 軌跡や領域について理解する	○	○	○	

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第4章 三角関数 第1節 三角関数 1. 一般角 2. 弧度法 3. 三角関数 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数を含む方程式・不等式	説明・問題演習・板書 ベアワーク・グループワーク・調べ学習 一般角・弧度法を理解する 三角関数を含む方程式・不等式が解ける	○		○
				○	○
11月	第2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成 第5章 指数関数と対数関数 1. 指数法則 2. 指数関数とそのグラフ	説明・問題演習・板書 ベアワーク・グループワーク・調べ学習 加法定理を理解する 指数法則を理解する		○	○
			○	○	○
12・1月	3. 対数 4. 対数の性質 5. 対数関数とそのグラフ 6. 常用対数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分法	説明・問題演習・板書 ベアワーク・グループワーク・調べ学習 対数を理解し、計算ができる	○		○
				○	○
2月	1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数 3. いろいろな関数の微分 4. 接線 5. 関数の増減 6. 関数の極大・極小 7. 関数の最大・最小	説明・問題演習・板書 ベアワーク・グループワーク・調べ学習 微分の計算ができる 3次関数のグラフが描ける	○	○	○
				○	
3月	8. 方程式・不等式への応用 第2節 積分法 9. 不定積分 10. 不定積分の計算 11. 定積分 12. 定積分の性質 13. 面積	説明・問題演習・板書 ベアワーク・グループワーク・調べ学習 積分の計算ができる		○	○
			○		○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		理科		科目名	生物基礎
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	『生物基礎』（数研出版）
2	必修	2	70	補助教材	『改訂版リードLightノート 生物基礎』（数研出版）
授業の概要		生物と遺伝子、体内環境の維持について、そして生物の多様性と生態系について、生物学の基本的な概念や原理・原則を理解する。			
学習到達目標		日常生活や社会での出来事を生物学の基本的な概念や原理・法則を使い説明することができる。			
求められる力 (目指す生徒像)		生物学の基本的な概念、原理・法則から日常生活や生物としての自分自身に関心をもつことができる。			

観点別評価(%)							
	定期試験	小テスト	課題提出	授業姿勢			合計
知識・技能	60	30	10				100
思考・判断・表現	60	30	10				100
主体的に取り組む学習態度		20	30	50			100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性	一斉授業	○		
		グループ学習		○	○
		ワーク演習	○		
5月	第2節 エネルギーと代謝 第3節 呼吸と光合成	一斉授業	○		
		グループ学習		○	○
		ワーク演習	○		
6月	第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA	一斉授業	○		
		グループ学習		○	○
		ワーク演習	○		
7・8月	第2節 遺伝情報の複製と分配	一斉授業	○		
		グループ学習		○	○
		ワーク演習	○		
9月	第3節 遺伝情報の発現	一斉授業	○		
		グループ学習		○	○
		ワーク演習	○		

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内での情報伝達と調節	一斉授業	○		
		グループ学習		○	○
		ワーク演習	○		
11月	第2節 体内環境の維持の仕組み	一斉授業	○		
		グループ学習		○	○
		ワーク演習	○		
12・1月	第3節 免疫のはたらき 第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移	一斉授業	○		
		グループ学習		○	○
		ワーク演習	○		
2月	第2節 植生の分布とバイオーム 第3節 生態系と生物の多様性	一斉授業	○		
		グループ学習		○	○
		ワーク演習	○		
3月	第4節 生態系のバランスと保全	一斉授業	○		
		グループ学習		○	○
		ワーク演習	○		

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		保健体育		科目名	体育
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)
2	必修	2	70	補助教材	
授業の概要		様々な種目を通し、自らの体力を高めるとともに、集団行動に必要な技能を習得する。各種目のスキルテストを実施し、運動の基礎基本を身につける			
学習到達目標		各種目の基礎・基本をもとに、周囲と協力し練習やゲームに取り組むことができる。自主的・自律的に集団行動をとることができる。			
求められる力 (目指す生徒像)		集団行動を円滑に進めるためのコミュニケーション力や自己理解・他者理解。質の高いグループ学習を進めるための協働力。			

観点別評価(%)								
	活動観察	スキルテスト	ノート記入	グループ学習				合計
知識・技能	30	40	20	10				100
思考・判断・表現	30		40	30				100
主体的に取り組む学習態度	30		30	40				100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	○オリエンテーション	ペアワーク・グループワーク		○	○
	○体づくり運動	ワークシート		○	○
	○集団行動				
5月	○新体力テスト	ペアワーク・グループワーク		○	○
	○陸上競技Ⅰ (短距離走、長距離走)	スキルテスト 記録会	○	○	○
6月		グループワーク・ディスカッション		○	○
	○ダンス (現代的なリズムのダンス)	ワークシート 発表会	○	○	○
7・8月	○選択Ⅰ ・陸上(走幅跳／砲丸) ・器械運動(マット)	ペアワーク・グループワーク スキルテスト 記録会	○	○	○
		グループワーク・ディスカッション			○
	○選択Ⅱ ・球技(サッカー・バドミントン ・テニス・卓球) ・武道(柔道)	ワークシート スキルテスト ゲーム	○ ○	○ ○	○ ○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	○選択Ⅲ ・球技 ・バレーボール ・バスケットボール ・バドミントン・卓球	グループワーク・ディスカッション ワークシート スキルテスト ゲーム	○ ○	○ ○	○ ○
11月	○選択Ⅳ ・球技 ・バレーボール ・バスケットボール ・バドミントン・卓球	グループワーク・ディスカッション ワークシート スキルテスト ゲーム	○ ○	○ ○	○ ○
12月	○体育理論 ・スポーツの歴史的発展と変容 ・スポーツの技術、戦術、ルールの変化	グループワーク・ディスカッション ワークシート	○ ○	○ ○	○ ○
1～3月	○クロスカントリースキー	グループワーク・ペアワーク スキルテスト・スキー大会 ワークシート	○ ○	○ ○	○ ○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		保健体育		科目名	保健
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）
2	必修	I	35	補助教材	現代高等保健体育ノート
授業の概要		生涯の各段階における健康についての課題やわが国の保健・医療制度や機関を適切に活用できるようにする。社会生活における健康の保持増進について、社会環境作りを推進していくことが必要であることを理解する。			
学習到達目標		各ライフステージにおける課題を理解し、より健康な生活を送る方策を考えることができる。社会環境作りの中で、自分自身ができることを理解することができる。			
求められる力（目指す生徒像）		自他の健康について、主体的な関わりができる力と探究的な姿勢。グループ学習等を通して、協働力を高める。			

観点別評価（％）							
	小テスト	グループ学習	課題提出	授業姿勢	ノート記入		合計
知識・技能	50		30		20		100
思考・判断・表現		20	40	20	20		100
主体的に取り組む学習態度	20	20	10	20	30		100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	健康を支える環境づくり ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
5月	・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と下水道の整備	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
6月	生涯を通じる健康 ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ※交通安全講話	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
7・8月	・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ※保健講話	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
9月	・結婚生活と健康 ・中高年期と健康	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
11月	・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動 ・保健サービスとその活用	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
12・1月	・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
2・3月	・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		外国語		科目名	英語コミュニケーションⅡ
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	All Aboard! English Communication Ⅱ (東京書籍)
2	必修	4	140	補助教材	eラーニングで身につける初級英語・基礎
授業の概要		英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。			
学習到達目標		本校Can-Doリストに従い、年度始めはCEFR(セファール)A1レベル初級からスタート(内容理解の支援をしながら)し、最終的にはCEFR A1 定着レベル(概ね英検3級じゅうぶんに合格可能なレベル)を目標とする。			
求められる力 (目指す生徒像)		日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、必要な情報の概要や要点を目的に応じて捉えることができる。また、基本的な語句を用いて情報や考えを論理性に注意して伝えることができる。			

観点別評価(%)								
	定期試験	小テスト	Pテスト	ワークシート	授業姿勢			合計
知識・技能	50	30		20				100
思考・判断・表現	50		30		20			100
主体的に取り組む学習態度		20	20	30	30			100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	*(参考)基礎力診断テスト オリエンテーション Lesson 1 A Colorful Island ★Chromebookを用いた活動	Can-Doリスト配布 内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動 eラーニング活動(英単語・熟語テスト)		○	○
5月	Lesson 2 With the Beatles ★インプットの確認活動(1)	内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動 小テスト パフォーマンステスト(Pテスト)	○	○ ○	○ ○
6月	前期中間試験 Lesson 3 Wild Men ★Chromebookを用いた活動	定期試験(含 リスニング) 内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動 eラーニング活動(英単語・熟語テスト)	○	○ ○	○ ○
7・8月	Lesson 4 Little Hero ★インプットの確認活動(2)	内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動 小テスト パフォーマンステスト(Pテスト)	○	○ ○	○ ○
9月	前期期末試験 Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	定期試験(含 リスニング) 内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動 Can-Do振り返り	○	○ ○	○ ○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	★Chromebookを用いた活動 Lesson 6 Seeds for Future Generations ★インプットの確認活動(3)	eラーニング活動(英単語・熟語テスト) 内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動 小テスト	○	○	○
11月	後期中間試験 Lesson 7 Over the Wall	パフォーマンステスト(Pテスト) 定期試験(含 リスニング) 内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動	○	○ ○	○ ○
12・1月	★Chromebookを用いた活動 Lesson 8 Inspiration from Nature ★インプットの確認活動(4)	eラーニング活動(英単語・熟語テスト) 内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動 小テスト	○	○	○
2月	後期期末試験 Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	パフォーマンステスト(Pテスト) 定期試験(含 リスニング) 内容理解・調べ学習・意見交換	○	○	○
3月	Lesson 9 つづき 一年間のまとめ	Can-Do振り返り			

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		英語		科目名	論理表現 I
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	VISTA Logic and Expression I
2	必修	2	70	補助教材	
授業の概要		導入、インプット、アウトプットという3ステップ方式をもちいてコミュニケーション活動、語彙活動、文法活動を行う。			
学習到達目標		インタビューやベアワークなどの「やりとり」に関する活動、スピーチ・プレゼンテーションなどの「発表」、メールやホームページ作成などの「書く」活動により3領域の発信力を養う。			
求められる力 (目指す生徒像)		表現に必要な語句を利用し、聞き取り・対話を行う。更に自分の意見を伝えたり相手の考えを理解したりして、簡潔な英語でやりとりを行う。必要に応じ、情報を書いて表現する。			

観点別評価(%)								
	定期試験	小テスト	Pテスト	プリント	課題提出	授業姿勢		合計
知識・技能	65	30	5					100
思考・判断・表現	35		45	20				100
主体的に取り組む学習態度			35	15	20	30		100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	Lesson 1	【学習活動(小テスト等)】 単語、現在形	○		
	Bouldering? How Nice!	【言語活動(Pテスト等)】 自己紹介、やりとり	○	○	○
	PT: 自己紹介発表	【プリント課題等】 授業姿勢			○
5月	Lesson 2	【学習活動(小テスト等)】 単語、過去形、歴史上の人物	○		
	Famous People	【言語活動(Pテスト等)】 話す、聞く、読む、発表する	○	○	○
	PT: 好きな(歴史上の)人物のスピーチ	【プリント課題等】 授業姿勢			○
6月	Lesson 3 Aquarium Adventure	【学習活動(小テスト等)】単語、進行形、LINE文章作成、未来(予定)	○		
	LINE文章作成	【言語活動(Pテスト等)】 話す、聞く、読む、書く	○	○	○
	Lesson 4 My Summer Plan	【プリント課題等】 授業姿勢			○
7・8月	Lesson 5 UFO Sightings	【学習活動(小テスト等)】 単語、完了形(体験談、メール作成)	○		
	PT: 体験談の発表	【言語活動(Pテスト等)】 話す、聞く、読む、発表する、書く	○	○	○
	Lesson 6 homestay	【プリント課題等】 授業姿勢			○
9月	Lesson 7	【学習活動(定期試験・小テスト等)】 単語、比較	○	○	
	Which Is Faster?	【言語活動(Pテスト等)】 話す、聞く、読む	○	○	○
	Game	【プリント課題等】 授業姿勢			○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	Lesson 8 Great Inventions	【学習活動(小テスト等)】 発明品についてのスピーチ	○		
	Lesson 9 Save the Earth	【言語活動(Pテスト等)】 話す、聞く、発表する、読む、書く	○	○	○
	HP作成	【プリント課題等】			○
11月	Lesson 10 Materpiece Game	【学習活動(小テスト等)】 単語、受動態、不定詞、動名詞	○		
	Lesson 11 My Future Job	【言語活動(Pテスト等)】 話す、聞く、読む、game、発表する	○	○	○
	PT: 発表	【プリント課題等】 授業姿勢			○
12・1月	Lesson 12 World Heritage	【学習活動(小テスト等)】 単語、不定詞、分詞	○		
	HP作成	【言語活動(Pテスト等)】 話す、聞く、読む、書く、クイズ	○	○	○
	Lesson 13 Pictogram	【プリント課題等】 授業姿勢			○
2月	Lesson 14 Cool Japan	【学習活動(定期試験・小テスト等)】 単語、関係詞、日本文化	○	○	
	日本文化を海外へ発信するスピーチ	【言語活動(Pテスト等)】 話す、聞く、読む、発表する	○	○	○
		【プリント課題等】 授業姿勢			○
3月	Lesson 15 What's SDG's?	【学習活動(小テスト等)】 単語、仮定法、SDGs	○		
	SDGsに対する意見	【言語活動(Pテスト等)】 話す、聞く、読む、書く	○	○	○
		【プリント課題等】 授業姿勢			○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		家庭		科目名	家庭基礎
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	Survive!!高等学校 家庭基礎(教育図書)
2	必修	2	70	補助教材	Survive!!高等学校 家庭基礎ワーク(教育図書)
授業の概要		人の一生を生涯発達の視点でとらえ、生活者として必要な知識や技術を得し、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。			
学習到達目標		人が生きていく上で必要な「生活」に関わるさまざまな事象に関心を持ち、生活課題を見つけ、解決のためにどのようなことができるか考える態度を養い、充実した生活のための知識を定着させる。			
求められる力 (目指す生徒像)		よりよい充実した生活や生き方ができるような知識や技術、思考力を養い、実生活に的確に活かすことができる。			

観点別評価(%)							
	定期試験	課題提出	授業姿勢	作品実技			合計
知識・技能	60	40					100
思考・判断・表現	40	30		30			100
主体的に取り組む学習態度			100				100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	8章 青年期・家族	・自分を見つめる ・現代の家族 ・家庭生活の成り立ち ・家族と法律	○ ○ ○	○	○ ○ ○
5月	5章 子どもの保育	・子どもの発達 ・子どもの遊び ・子どもの生活・大人の役割 ・子育て環境・子育て支援	○ ○ ○	○	○ ○ ○
6月	(中間考査) 6章 高齢者の生活	・高齢者を理解する ・高齢者の生活を支える仕組み	○	○	○
7・8月	2章 衣生活 ↓	・人と衣服 衣服の表示 ・衣服素材の性能と着心地 ・衣服の手入れ・管理 ↓	○ ○ ○		○ ○ ○
9月	↓	・被服実習	○	○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第3章 食生活 ↓	・食品と栄養素 ・食品の選択・保存、安全な取り扱い ・献立作成	○ ○ ○		○ ○ ○
11月		・調理の基礎 ・調理実習	○ ○	○	○ ○
12・1月	第1章 消費生活・環境 ↓	・成年年齢の引き下げ ・契約者と消費者トラブル	○ ○		○ ○
2月		・消費者の権利と責任 ・消費者の意思決定 ・生活費と家計	○ ○ ○		○ ○ ○
3月	第4章 住生活	・ライフスタイルとすまい ・衛生的な住まい	○ ○		○ ○